

結果の要約

1 職業

愛媛県の15歳以上就業者数(679,915人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が196,007人(15歳以上就業者数の28.8%)と最も多く、次いで「事務従事者」が117,710人(同17.3%)、「販売従事者」が88,997人(同13.1%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が9,272人(15.4%)増、「保安職業従事者」が429人(5.2%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が3,752人(20.2%)減、「運輸・通信従事者」が3,715人(13.3%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が32.5%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が32.4%、「販売・サービス関係職業」が24.6%、「農林漁業関係職業」が9.3%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.4ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ1.7ポイント、0.6ポイント低下している。また、「事務・技術・管理関係職業」は同率となっている。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業者」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は40.8時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が48.7時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.5時間、「管理的職業従事者」が44.4時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.5時間減、「販売従事者」が1.7時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が159,784組(夫婦数364,622組の43.8%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が106,540組(同29.2%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「農林漁業作業者」である夫婦が17,616組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の11.0%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が16,886組(同10.6%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は156,935世帯(住宅に住む一般世帯573,105世帯の27.4%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は416,170世帯(同72.6%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が156,865世帯(同27.4%)、「女性のみ」の世帯が79,604世帯(同13.9%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が30,110世帯(同5.3%)となっている。

図1 愛媛県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

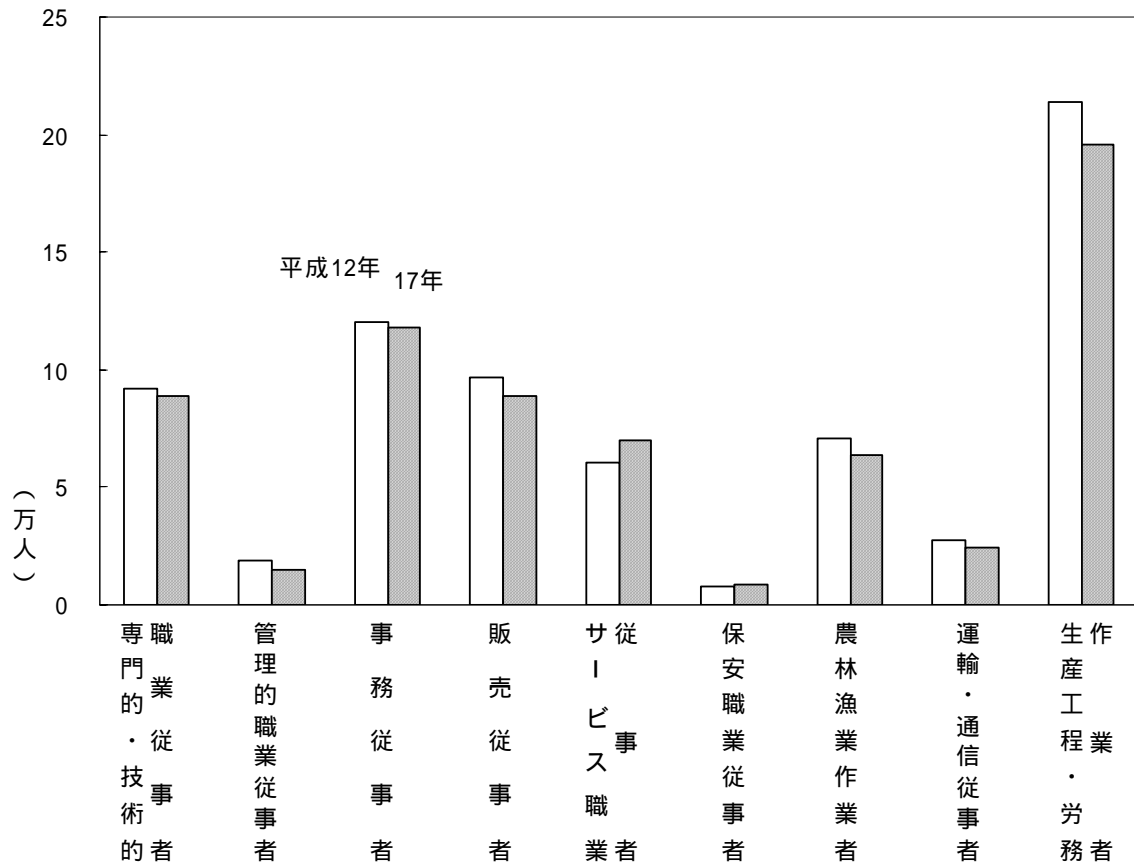


図2 愛媛県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

